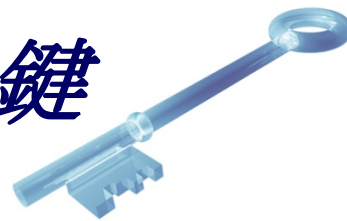


ユビキタス社会の
扉を開く鍵



2009年3月期 第3四半期（累計） 決算説明資料

Outline of Consolidated Financial Results
for Third Quarter of Year Ending March31, 2009

キーウェアソリューションズ株式会社
(東証2部 3799)

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



第3四半期（累計） 連結決算概要

【 第3四半期(累計)連結決算のポイント 】

**景気減速の影響による大型案件の受注減少、及び
損益悪化プロジェクトの影響を払拭できず、
前年同期比 増収・減益**

当社グループは、安定分野である社会インフラ構築事業において、官公庁向けの比重が大きいため、第4四半期に売上が集中する特徴があります。また、総合サービス事業においては、keyCOMPASS事業を中心とし、一般民需向けサービスを積極的に展開しており、中期的には業績の季節変動をできる限り少なくする戦略を取っております。

keyCOMPASS: 経営とITの統合コンサルティングからシステム運用・保守まで、事業間の連携を重視し、高い収益性を実現するための当社のビジネスモデル。

連結損益計算書概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第3四半期(累計)	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第3四半期(累計)
売上高	13,597	15,665
売上原価	11,110	13,291
売上総利益	2,487	2,374
販管費	2,349	2,922
営業利益	137	△548
経常利益	73	△595
純利益	△ 23	△549

システム開発事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第3四半期(累計)	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第3四半期(累計)
売上高	7,342	8,425

売上高

- 航空宇宙系、メディア系案件は順調に推移
- 官庁向け案件、金融業、ネットワーク監視業務向けシステム開発は不調

損益面

- 収益性とプロジェクト品質の確保に努めるも、官庁系、社会インフラ系システム開発において損益悪化プロジェクトが発生

総合サービス事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第3四半期(累計)	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第3四半期(累計)
売上高	6,255	7,240

売上高

- keyCOMPASS事業のうち、自治体関連案件においては、**税込落ち込みを見込んだ情報投資予算抑制による調達スケジュール変更の影響**
- ERP事業の既存顧客向け案件は**堅調に推移**
- 自社開発のパッケージソフトを用いた**医療関連、特許関連事業、HP UX関連のインフラ構築事業が堅調**

損益面

- **第2四半期までに発生した運輸系の既存顧客向けの損益悪化プロジェクトが収束**

ERP: Enterprise Resource Planningの略。統合業務パッケージと呼ばれ、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする情報システムパッケージ。

HP UX: ヒューレット・パッカード社(HP)のワークステーションから中・大規模システム用サーバまで用いられているUNIXオペレーションシステムのこと

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第2四半期	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第3四半期
資産合計	11,784	12,091
流動資産	7,051	7,490
固定資産	4,733	4,600
負債合計	3,959	4,669
流動負債	3,829	4,654
固定負債	130	14
純資産	7,824	7,421
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	5,625	5,231
その他	▲ 44	▲ 54
負債・純資産合計	11,784	12,091



連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	第43期 2008年(平成20年) 3月期 第3四半期(累計)	第44期 2009年(平成21年) 3月期 第3四半期(累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 658	475
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 172	▲549
財務活動によるキャッシュ・フロー	419	50
計	▲ 411	▲22
現金及び現金同等物期末残高	814	987

● プロジェクト品質の向上

➡ プロジェクト管理能力を引き続き強化

- ① 明確化された手順による作業の実施
- ② 組織標準に準拠した作業を実施
- ③ 定量データに基づく分析と改善の実施

品質の向上、開発の効率化、納期の短縮化等により

競争力の強化と利益の確保

● オフショア活用能力の向上

新規海外ソフトウェア会社の活用で問題が発生

➡ 当社システムエンジニアが現地へ赴き、品質向上等徹底指導
オフショア活用能力を引き続き向上

システム開発事業

安定分野

- ▲ 受注案件は増加も、大型案件が減少
- 底堅い官公庁案件へ積極的にアプローチ

総合サービス事業

企業の競争力強化、コスト削減のため情報システム投資需要の増加期待

有望分野

- 五大顧客と連携をはかり、ERP R/3の拡大
- 自社パッケージのSaaS展開

成長分野

- ハイブリッドシンクライアントソリューションに商機

五大顧客: 当社の安定収益7割を占める社会インフラ企業(NEC関連、NTT関連、JR関連、HP関連、三菱商事関連)。

SaaS: Software as a Serviceの略称。ソフトウェアの機能のうち、ユーザが必要とするものだけをサービスとして配布し利用できるようにしたソフトウェアの配布形態。サービス型ソフトウェアとも呼ばれる。

ハイブリッドシンクライアント: 今までパソコン上にあったアプリケーションやデータをサーバで一元管理し、情報漏えいにつながる恐れのある機能の制限を行うこと。また、既存のクライアント端末をそのまま利用し、シンクライアントを実現できるという特徴があり、HDDレスのシンクライアント端末を新たに購入する必要が無く、導入コストの低減が可能。



通期業績予想

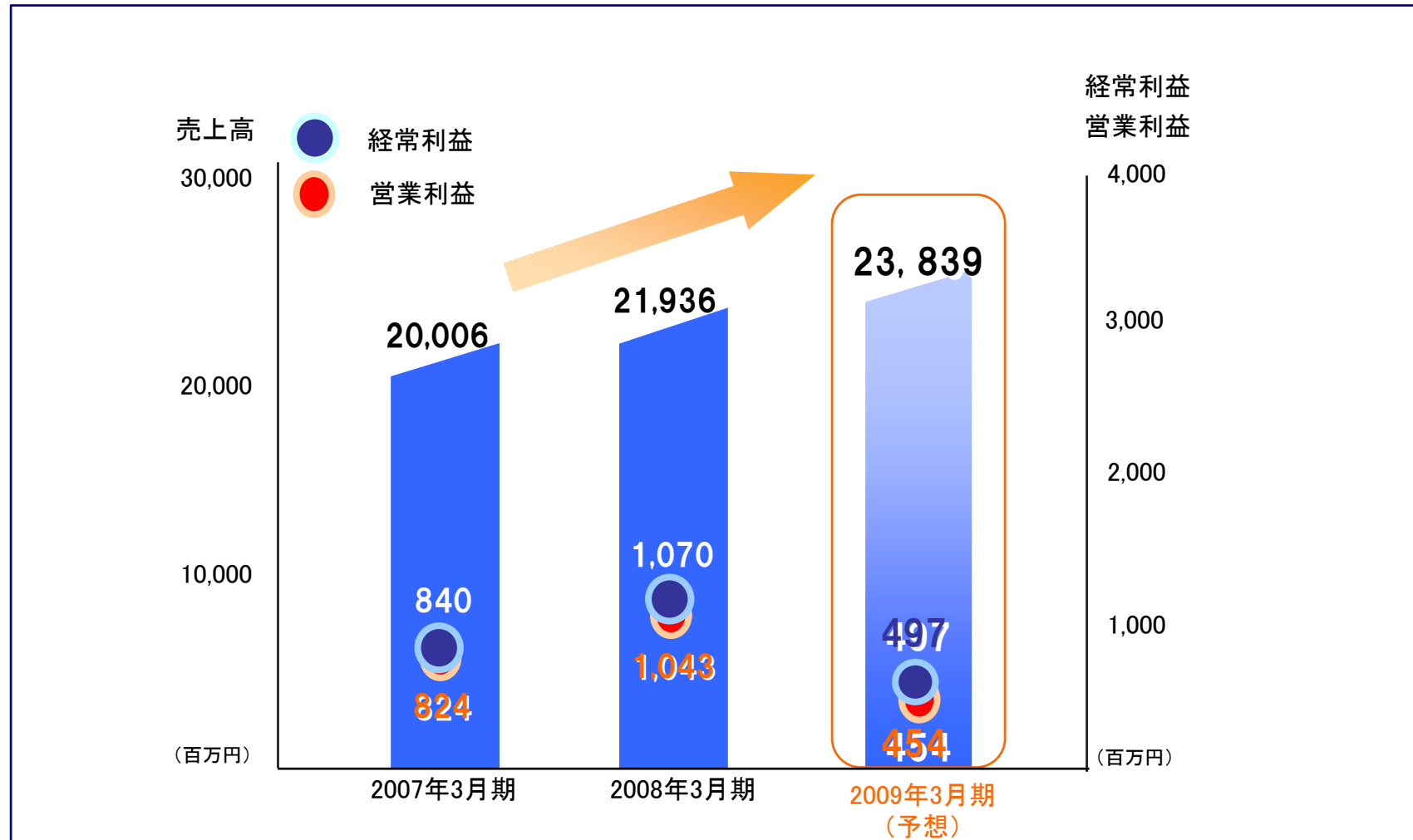
2009年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	第43期 平成20年(2008年)3月期			第44期 平成21年(2009年)3月期		
	実績		前期比	予想		前期比
	金額	百分比		金額	百分比	
売上高	21,936	100.0%	9.6%	23,839	100.0%	8.7%
売上総利益	4,152	18.9%	12.1%	4,476	18.8%	7.8%
営業利益	1,043	4.8%	26.6%	497	2.1%	-52.4%
経常利益	1,070	4.9%	27.3%	454	1.9%	-57.6%
当期純利益	603	2.8%	10.0%	179	0.8%	-70.4%

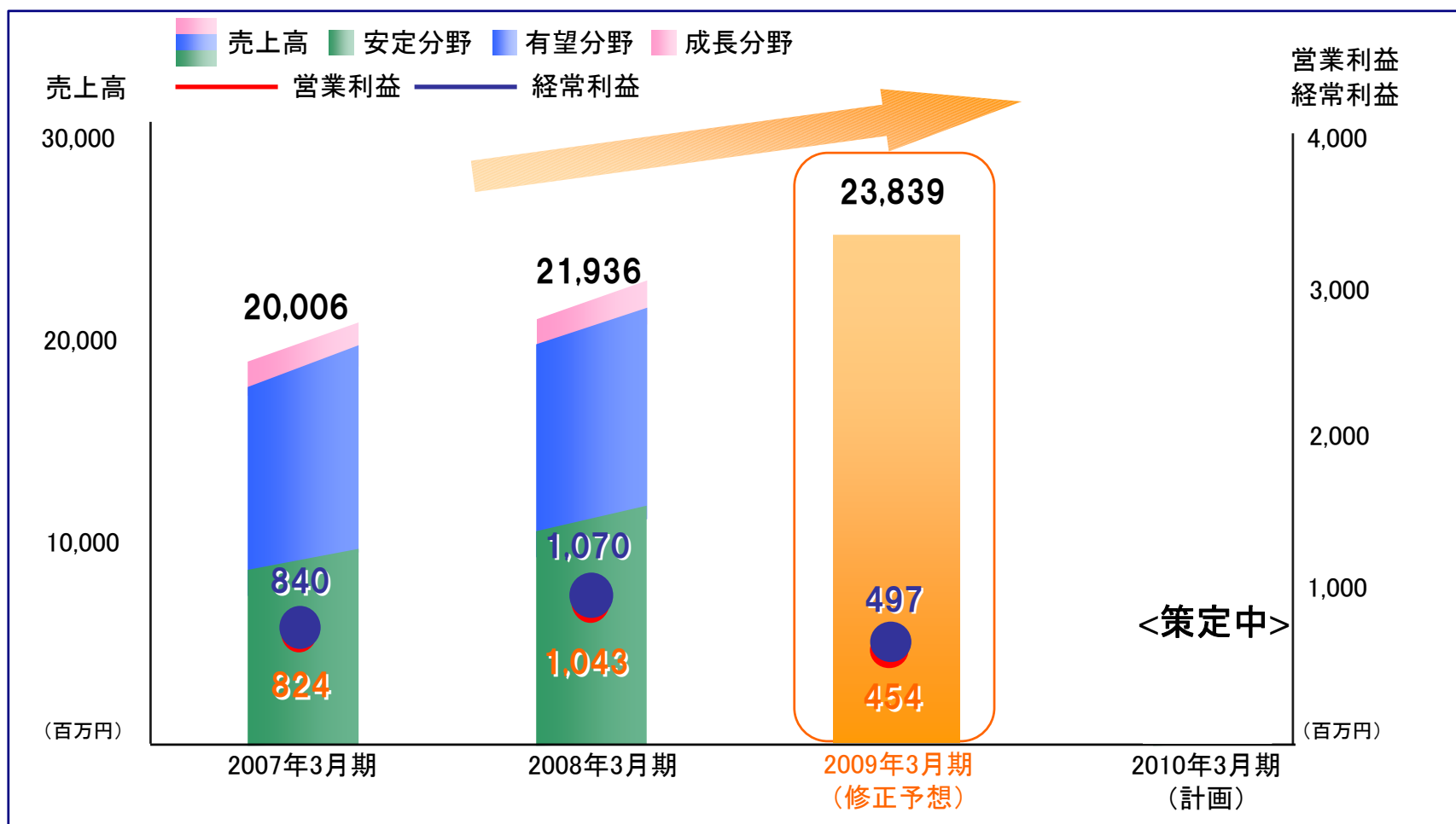
※ 2009年3月期通期連結業績予想の修正を2008年12月19日に上記の通り公表致しております。

前期比 売上高8.7%増、営業利益52.4%減の見込み



中期経営計画 ダッシュ24

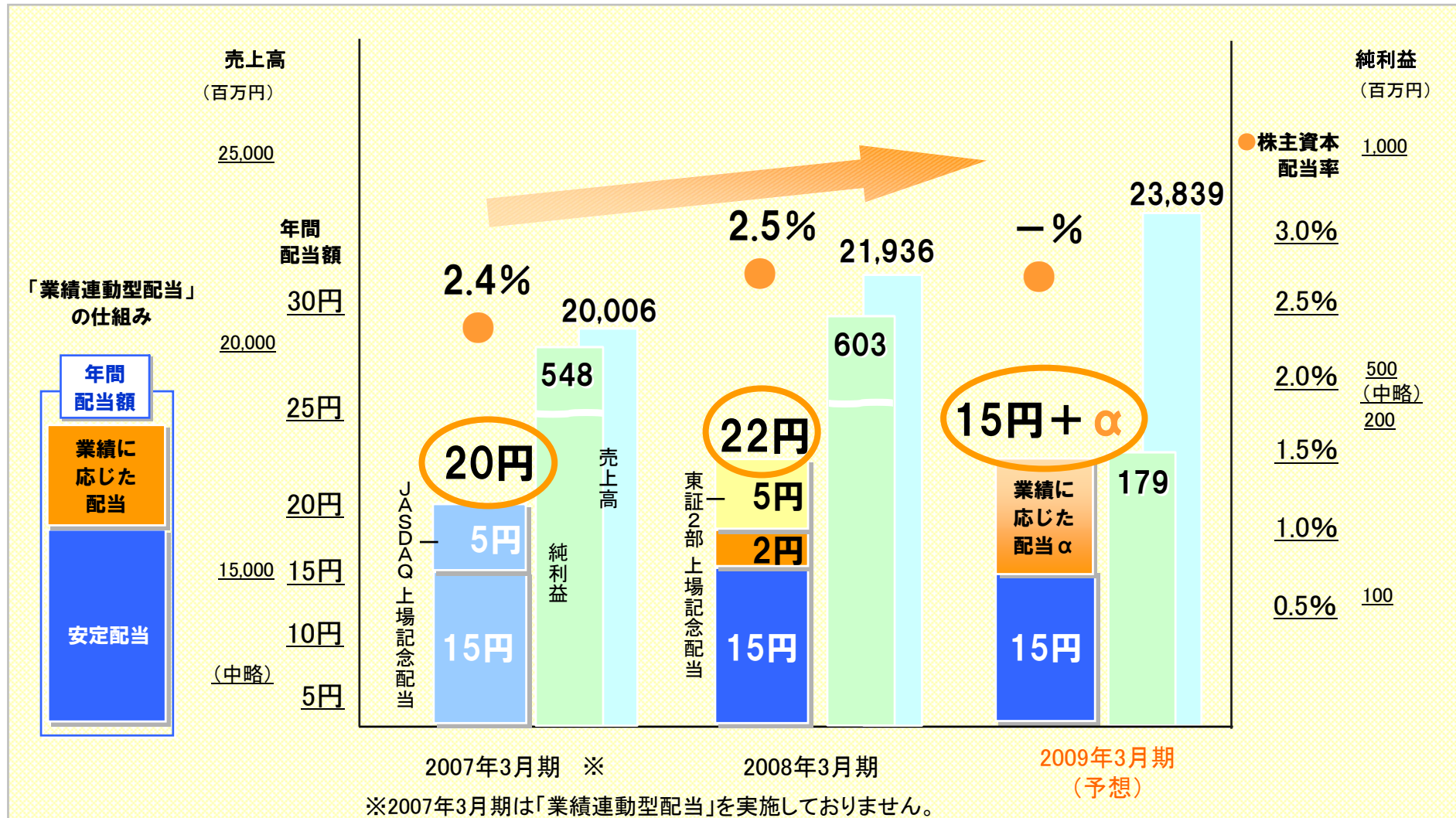
「飛躍への基盤整備」をテーマに、付加価値の高い一貫したサービスの提供をするべく、中期経営計画の達成を目指します。





株主還元 (中長期的な配当方針)

積極的な利益還元をはかるべく、「業績連動型配当」を実施





KEYWARE SOLUTIONS

お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799